



2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年2月13日

上場会社名 トレーディア株式会社

上場取引所 東

コード番号 9365 U R L

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 吉田 大介

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務本部長 (氏名) 萩木 信弘 TEL 078-391-7170

配当支払開始予定日 一

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績 (2025年4月1日～2025年12月31日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収入		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	12,528	△0.9	239	1.9	503	40.0	362	43.4
2025年3月期第3四半期	12,641	10.6	235	41.7	359	11.6	252	△16.3

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 899百万円 (176.6%) 2025年3月期第3四半期 325百万円 (△33.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	246.98	—
2025年3月期第3四半期	172.20	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円		百万円		%	
2026年3月期第3四半期	13,072		5,476		41.9	
2025年3月期	10,792		4,650		43.1	

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 5,476百万円 2025年3月期 4,650百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年3月期	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 50.00	円 銭 50.00
2026年3月期	—	—	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	—	—	50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想 (2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収入		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
通期	16,800	0.9	320	26.3	400	0.4	280	4.6

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	：無
② ①以外の会計方針の変更	：無
③ 会計上の見積りの変更	：無
④ 修正再表示	：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期 3Q	1,470,000株	2025年3月期	1,470,000株
② 期末自己株式数	2026年3月期 3Q	3,901株	2025年3月期	3,818株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期 3Q	1,466,127株	2025年3月期 3Q	1,466,189株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、対米貿易の不確実性の後退、インバウンド消費が過去最高を更新、10月下旬には日経平均株価が5万円を突破するなど、景況感が上向き、緩やかながらも持ち直しの動きが続いている。一方で、日本銀行の政策金利引き上げや、米中貿易摩擦、中国経済の減速、ウクライナをはじめとする地政学的リスクもあり、経済の下振れ要因が拭いきれている状況ではありません。

当社グループを取り巻く環境としては、輸出貨物の取扱量は、改善の兆はあるものの、米国の通商政策による混乱等の影響で、前年を下回って推移しました。輸入関連では、保管料収入は堅調でしたが、長引く物価高により、取扱量は伸び悩み、前年を下回りました。国際物流網を担うコンテナ船による海上輸送においては、運賃市況が前年比で下落傾向にあるなかで、取扱量を増やし、営業収入の確保に努めました。

当社グループはこのような状況下におきまして、顧客ニーズに柔軟に対応した積極的な営業展開に努めてまいりましたが、総取扱量は前年同期比3.1%減少し、営業収入は前年同期比0.9%減の125億28百万円余（対前年同期1億12百万円余減）となりました。損益面につきましては、営業総利益は前年同期比5.6%増の8億67百万円余（対前年同期45百万円余増）となりました。営業損益は、一般管理費が増加したため、前年同期比1.9%増の2億39百万円余の利益（対前年同期4百万円余増）、経常損益は、受取利息及び配当金と持分法による投資利益が大きく増加したことにより、前年同期比40.0%増の5億3百万円余の利益（対前年同期1億43百万円余増）となりました。その結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比43.4%増の3億62百万円余（対前年同期1億9百万円余増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

①輸出部門

輸出部門におきましては、改善の兆はあるものの、雑貨、機械製品の取扱いの減少により、取扱量は前年同期比で6.6%減となりました。また、自社倉庫での取扱量や取扱件数も前年同期比で減少しました。輸出部門の営業収入は前年同期比1.6%減の20億73百万円余（対前年同期33百万円余減）となったものの、コスト減少、適正料金の収受の効果により、セグメント利益51百万円余（対前年同期36百万円余増）の計上となりました。

②輸入部門

輸入部門におきましては、機械製品や食料品が増加しましたが、雑貨の減少により取扱量は前年同期比で6.2%減となりました。取扱件数も前年同期比で伸び悩み、営業収入には貢献できなかつたものの、自社施設での保管料収入が大幅に増加したことから収益性が改善し、輸入部門の営業収入は前年同期比1.5%減の38億65百万円余（対前年同期60百万円余減）、セグメント利益26百万円余（対前年同期25百万円余増）の計上となりました。

③国際部門

国際部門におきましては、輸出・輸入ともに取扱量は前年同期を上回って推移しましたが、運賃市況が下落傾向となり営業収入は前年同期比で減少しました。輸出では、前年同期に好調だった設備輸送、三国間貿易の取扱減がありました。一方で、中国および東南アジア向けの機械、自動車部品、紙類、食品などが堅調に推移し、取扱量は前年同期比1.8%増加しました。輸入では、運賃市況は前年同期比で大きな変化はなく、中国及び東南アジアからの漢方薬原料、衛生関連品、衣類などが堅調に推移し、また、猛暑の影響により夏物家電の取扱いの長期化などが後押しとなり、取扱量は前年同期比4.3%増加し、営業収入も前年同期比6.3%増となりました。結果、部門全体では、営業収入は前年同期比0.6%減の64億44百万円余（対前年同期39百万円余減）となったものの、輸出の収益性低下が影響し、セグメント利益は対前年同期比40.7%減の1億1百万円余（対前年同期69百万円余減）の計上となりました。

④倉庫部門

倉庫部門におきましては、営業収入は前年同様の40百万円余となりました。セグメント利益は前年同様の38百万円余の計上となりました。

⑤その他

船内荷役等の営業収入は前年同期比38.8%増の1億25百万円余となり、セグメント利益は前年同期比119.6%増の21百万円余の計上となりました。

(注) 上記のセグメントの営業収入には、セグメント間の内部営業収入20百万円余を含んでおります。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ22億79百万円余増加し、130億72百万円余となりました。流動資産は、前連結会計年度末に比べ1億92百万円余増加し、41億14百万円余となりました。固定資産は、前連結会計年度末に比べ20億87百万円余増加し、89億57百万円余となりました。流動資産増加の主な要因は、立替金は減少しましたが、現金及び預金、受取手形、売掛金及び契約資産の増加等によるものであります。固定資産増加の主な要因は、建物及び構築物、投資有価証券の増加等によるものであります。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ13億60百万円余増加し、54億9百万円余となりました。固定負債は、前連結会計年度末に比べ93百万円余増加し、21億85百万円余となりました。流動負債増加の主な要因は、賞与引当金は減少しましたが、短期借入金の増加等によるものであります。固定負債増加の主な要因は、長期借入金、役員退職慰労引当金は減少しましたが、繰延税金負債の増加等によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ8億25百万円余増加し、54億76百万円余となりました。純資産増加の主な要因は、利益剰余金、その他有価証券評価差額金の増加等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間においては、受取利息及び配当金と持分法による投資利益の増加により、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益については、2025年5月13日公表の通期の連結業績予想を上回って推移しておりますが、第4四半期の事業環境は、季節要因等も重なり不透明であるため、通期連結業績予想につきましては、前回公表の業績予想を据え置いております。今後、予想値の修正が必要となった場合には速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流动資産		
現金及び預金	1,125,965	1,278,398
受取手形、売掛金及び契約資産	1,630,792	1,735,300
立替金	1,009,619	924,055
その他	156,957	176,896
貸倒引当金	△1,895	△271
流动資産合計	3,921,439	4,114,379
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,236,868	2,477,950
機械装置及び運搬具（純額）	43,703	91,939
工具、器具及び備品（純額）	5,933	6,868
土地	1,781,656	1,781,656
リース資産（純額）	138,085	134,333
建設仮勘定	—	1,522
有形固定資産合計	3,206,247	4,494,269
無形固定資産		
借地権	34,560	34,560
その他	43,082	47,140
無形固定資産合計	77,642	81,700
投資その他の資産		
投資有価証券	2,177,823	2,980,022
差入保証金	774,814	796,838
退職給付に係る資産	21,519	53,953
その他	616,842	554,404
貸倒引当金	△4,265	△3,537
投資その他の資産合計	3,586,734	4,381,681
固定資産合計	6,870,624	8,957,651
資産合計	10,792,064	13,072,031

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	1,205,376	1,234,185
短期借入金	2,166,145	3,566,145
リース債務	51,579	50,410
未払法人税等	92,676	52,132
賞与引当金	235,152	118,011
その他	298,271	388,751
流動負債合計	4,049,201	5,409,635
固定負債		
長期借入金	1,495,825	1,371,216
リース債務	127,202	133,645
長期未払金	2,190	9,006
繰延税金負債	373,837	623,988
役員退職慰労引当金	80,434	35,391
その他	12,650	12,650
固定負債合計	2,092,140	2,185,897
負債合計	6,141,341	7,595,532
純資産の部		
株主資本		
資本金	735,000	735,000
資本剰余金	169,380	169,380
利益剰余金	2,900,794	3,189,603
自己株式	△6,970	△7,074
株主資本合計	3,798,204	4,086,909
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	905,598	1,436,984
為替換算調整勘定	40,227	33,320
退職給付に係る調整累計額	△93,307	△80,715
その他の包括利益累計額合計	852,517	1,389,589
純資産合計	4,650,722	5,476,499
負債純資産合計	10,792,064	13,072,031

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
営業収入	12,641,398	12,528,570
営業費用	11,820,267	11,661,503
営業総利益	821,131	867,067
一般管理費	586,032	627,494
営業利益	235,098	239,572
営業外収益		
受取利息及び配当金	105,388	234,725
持分法による投資利益	3,146	28,976
その他	63,920	62,877
営業外収益合計	172,454	326,580
営業外費用		
支払利息	45,858	62,337
その他	1,788	0
営業外費用合計	47,647	62,337
経常利益	359,905	503,815
特別利益		
固定資産売却益	3,699	381
特別利益合計	3,699	381
特別損失		
固定資産除売却損	988	0
リース解約損	3,552	8,814
特別損失合計	4,540	8,814
税金等調整前四半期純利益	359,064	495,382
法人税等	106,575	133,264
四半期純利益	252,489	362,118
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	252,489	362,118

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	252,489	362,118
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	67,066	531,386
退職給付に係る調整額	1,371	12,592
持分法適用会社に対する持分相当額	4,105	△6,907
その他の包括利益合計	72,543	537,071
四半期包括利益	325,033	899,189
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	325,033	899,189
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

税金費用の計算

税金費用につきましては、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。また、見積実効税率を使用できない場合は、税金等調整前四半期純利益に一時差異に該当しない重要な差異を加減した上で、法定実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）

1. 報告セグメントごとの営業収入及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	輸出	輸入	国際	倉庫				
営業収入								
外部顧客への営業収入	2,106,593	3,926,269	6,484,277	40,500	83,757	12,641,398	—	12,641,398
セグメント間の内部営業収入又 は振替高	—	—	—	—	6,540	6,540	△6,540	—
計	2,106,593	3,926,269	6,484,277	40,500	90,297	12,647,938	△6,540	12,641,398
セグメント利益	15,099	872	170,556	38,904	9,664	235,098	—	235,098

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、船内荷役、その他の事業を含んでおります。

2. 調整額△6,540千円は、セグメント間取引消去額であります。

3. セグメント利益の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益であります。

II 当第3四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年12月31日）

1. 報告セグメントごとの営業収入及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	輸出	輸入	国際	倉庫				
営業収入								
外部顧客への営業収入	2,073,502	3,865,436	6,444,505	40,500	104,625	12,528,570	—	12,528,570
セグメント間の内部営業収入又 は振替高	—	—	—	—	20,700	20,700	△20,700	—
計	2,073,502	3,865,436	6,444,505	40,500	125,325	12,549,270	△20,700	12,528,570
セグメント利益	51,967	26,326	101,138	38,912	21,228	239,572	—	239,572

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、船内荷役、その他の事業を含んでおります。

2. 調整額△20,700千円は、セグメント間取引消去額であります。

3. セグメント利益の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益であります。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年12月31日）

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	115,510千円	131,001千円